活　動　計　画　書

（記載例）

令和６年○月○日策定

○○の森保全の会

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

１．組織名

|  |
| --- |
| ○○の森保全の会（活動組織の正式名称） |

２．所在地

|  |
| --- |
| ○○市○○１－２－１（団体の所在地、もしくは代表者の住所） |

３．地区の概要、取組の背景・取組の概要、地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域の活性化への寄与等

|  |
| --- |
| 　（例：谷津田とその周辺の斜面林からなる地区で、活動予定の森林は、雑木林及びスギ林である。昭和30年代に植えられたスギ林にはモウソウ竹が侵入して密生しスギの一部は枯れてしまっている。活動する森林の隣接地には自治会館があり地域住民のいこいの場所でもあることから、周辺の景観を保全するため、住民を中心とした会を○○年に立ち上げ活動を開始した。　 |

４．取組概要

|  |
| --- |
| 以下例○エリア１（地域環境保全タイプ・里山林）雑木林については危険木処理とあわせて林床整備を行い、見通しのよい良好な景観の維持を行う。・倒木の処理及び薮の刈払い（１年目）・不良木の整理、藪の刈り払い（２年目～３年目）○エリア２（地域環境保全タイプ・侵入竹駆除）モウソウ竹が侵入したスギ林については、侵入竹を駆除し、針広混交林に誘導する。・枯れ竹、林内作業路の整備（１年目）・竹の伐採、集積・整理（２年目）・再生してくる竹の伐採と広葉樹植栽（３年目）〇エリア３（森林資源利用タイプ）間伐適期のスギ林については１０～２０％程度の間伐を行い、伐採木は適宜搬出する。搬出した材は薪としての利用等を想定している。 |

５．構成員の概要

　　※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

|  |
| --- |
| 様式第10号別紙の参加同意書（構成員一覧表）に代わるものではない。構成員の具体的氏名を入れないこと。 |

６．年度別スケジュール

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組概要 | ６年度 | ７年度 | ８年度 |
| １．活動推進費 | ・活動森林全体の状況調査 |  |  |
| ２．実践活動 |  |  |  |
| A-1地域環境保全タイプ（里山林保全） | 倒木の処理薮の刈払い | 0.5ha | 不良木の伐採・整理刈払い | 0.5ha | 不良木の伐採・整理刈払い | 0.5ha |
| A-2地域環境保全タイプ（侵入竹除去、竹林整備） | 枯れ竹の整理林内作業路の整備 | 0.5ha | 竹の伐採・集積・整理 | 0.5ha | 竹の伐採・集積・整理 | 0.5ha |
| B 森林資源利用タイプ | 倒木処理・一部搬出 | 0.5ha | 間伐・一部搬出 | 0.5ha | 間伐・搬出 | 0.5ha |
| C 森林機能強化タイプ |  | ha |  | ha |  | ha |
|  | m |  | m |  | m |
| 2-1．間伐等（除伐・枝打ちを含む）実施面積 |  | ha | 間伐 | 0.5㏊ | 間伐 | 0.5㏊ |
| ２－２．活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていなかったと考えられる里山林を整備する面積 |  | 1.0ha |  | ha |  | ha |
| D 関係人口創出・維持タイプ | 森林整備体験（大学生） |  | 森林整備体験（大学生） |  | 森林整備体験（高校生） |  |
| ３．資機材・施設の整備等 | チェーンソー　１刈り払い機　　１チルホール　　1 | モータウインチ１ |  |

※１　延長には森林調査・見回りを除く。

※２　２のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※３　２－２については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する里山林の整備を実施している場合はその里山林の面積を除外し、その年度に新たに該当する里山林の整備を実施する面積を記載する。

※４　２のDの関係人口創出・維持タイプについては、年度毎の実施内容を記載する。

７．活動の目標と活動結果を測定するためのモニタリング調査方法（地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| タイプ名 | 目　標 | モニタリング調査方法 |
| 地域環境保全・里山林（エリア１） | 整備された明るい雑木林 | 伐採本数調査 |
| 地域環境保全・竹林（エリア２） | 侵入した竹を駆除した針広混交林（竹の本数を0本） | 竹の本数調査 |
| 森林資源利用（エリア３） | １０～２０％の間伐間伐材の搬出（一部） | 素材搬出量調査 |

（注）目標の設定及びモニタリング調査方法の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。

８．年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　度 | 講習の名称 | 講習の内容 |
| ６年度 | 作業の基礎講習会 | 作業実施方法、森林作業の留意点、緊急時の対応方法、 |
| ７年度 | チェーンソー講習会 | チェーンソー操作の基本、危険事例、伐採講習 |
| ８年度 | 大径木の伐採講習会 | 大径木に特化した伐採講習 |

９．安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

|  |
| --- |
| ・会員及び一般参加者には例外なくヘルメットを着用させる。・チェーンソーを操作するものは、防護具(チャップス)、ゴーグル、耳当てを着用する。・チェーンソーを使用する活動の会員は、○○保険に加入し、それ以外の会員は○○保険に加入する。（詳細は、別紙障害保険の内容予定・実績のとおり） |

１０．４年目以降の活動（森林管理）計画

|  |
| --- |
| ４年目以降も○○の森の保全管理を継続して実施する。また、活動森林を利用した自然観察会や炊き出し会などの活動も実施して、整備した森林の維持活動に近隣の住民の幅広い協力を求め、地域の里山を維持・発展を図る。 |

１１．計画図（協定の対象としている区域の図面）

　　　　取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の１以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

１２．持続性向上に向けた取組

|  |
| --- |
|  |

※　活動する人材の育成や確保、活動経費の確保など、活動組織が本活動計画終了後も活動を継続していくために行おうとする取り組みについて記載する。

１３．その他

（１）写真

　　　取組の実施箇所に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる里山林がある場合はその写真を添付すること。

（２）収入

　　　会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入を記載すること。

|  |
| --- |
|  |

（３）委託

取組を委託する場合は、次を記載すること。

|  |
| --- |
| 活動計画における取組についての委託 |
| ・委託機関名・連絡先（電話番号等）・委託時期・委託内容（委託する区域の林小班、委託業務の内容（面積、作業の内容）等）・委託金額 |